

〈東北・新潟の活性化応援プログラム〉 2022年 助成団体活動成果レポート

助成団体

Team 道草

山形県山形市

プロジェクト名

MICHIKUSA Youth Lab

■地域の課題

山形県金山町は、人口約5000人の町で、人口減少に加えて少子高齢化が進んでいます。

■当団体の紹介

山形大学の学生が地元住民へのヒアリングを実施し、地域の課題などを把握しました。その上で、学生の手で魅力的なプログラムに落とし込み、体験コンテンツとして同世代の学生に提供することで、若者が地域に愛着を持つきっかけづくりに取り組んでいます。





プロジェクトの概要

■背景・目的は？

関係人口を増やすことで金山町を活性化させたいという思いから、今回のプロジェクトを実施しました。

■具体的な活動は？

「あそぶまちなか in 金山町」と題し、計2回にわたり山形県金山町を舞台に、山形県内の学生を対象とした企画を実施しました。この企画は、町全体を使って遊び、仲間と共に楽しむことで金山町の魅力を知り、地域の良さを感じてもらうことを目標としています。

- ・1回目：6月11日（日）参加人数 10人
- ・2回目：11月12日（日）参加人数 10人

1回目と2回目ともに、金山町全体を活用したスタンプラリーや宝探しを中心に実施しました。これらは、地元住民へのヒアリングをもとに昔の遊びを体験したり、金山町の食を堪能したり、観光スポットを巡ったりするプログラムを組み込んでいます。

スタンプラリーでは、金山町役場を中心に、幅広い場所にスタンプを設置し、参加者がスタンプラリーを通じて金山町のスポットや自然豊かな風景を楽しめるよう設計しました。

宝探しでは、金山町のスポット名を取り入れた暗号を用いることで、頭と身体を使いながら金山町全体に没入できる仕掛けにしました。

その他、金山町の老舗和菓子店の和菓子を味わったり、金山杉に触れたり、金山町の歴史や文化を体感できる遊びやコンテンツを取り入れました。



学生たちが参加



仲間と共に楽しく



金山町のスポットをめぐる



遊び心いっぱいの企画も

■活動の成果は？

企画実施後、参加者にアンケートを実施しました。

「金山町の魅力を知れた」「金山町に興味湧いた」「また違う形で金山に来てみたい」などの声をいただき、参加者にとって満足のいく企画を届けられたと感じています。

また、当日の参加者の様子を見ても、自ら町に繰り出し、スタンプラリーや宝探し、金山町の食や文化、街並みを五感で感じながら楽しんでいる様子が多く見受けられました。

今回は、助成金の活用によって、普段の私たちの資金源では実施が難しいようなイベントを行うことができました。この企画は、地域の人々や参加者にとって有益な時間を提供できただけでなく、私たち運営スタッフにとっても非常に良い経験となりました。



頭も体も使って宝探し



地域の歴史や文化を体験



老舗の味も新鮮



地域の新しい魅力を発見

団体からのコメント

今回は、学生を中心に、主に学生だけで金山町を楽しむ企画にとどまりましたが、今後は地域の人々も交えて、学生と地元の方々が一緒に町を舞台に楽しむ機会を創っていきたいと考えています。また、今回は2回とも日帰りの企画でしたが、宿泊を伴う形での企画など、規模をさらに大きくしていきたいとも思っています。

私たちは100人を超える大規模なサークルですが、それぞれの考えや思いを最大限に活かすためのノウハウが十分でないと感じています。また、財政面についても潤沢とは言えず、最低限の活動を維持するのがやっとというのが現状です。

さらに、サークルの性質上、毎年代表や運営チームが変わるため、安定した運営を行うのは非常に難しい状況です。しかし、助成金や補助金の申請を通じて、最上地域、さらには山形県全体の地域活性化に貢献できる活動を行っていきたいと考えています。